

管理組合 交流サロン 「まんかんサロン」開催報告



●令和7年6月29日(日)14:40～16:00 ●大阪市立住まい情報センター 3階ホール ●参加者14名

分譲マンションの区分所有者同士が自由に情報交換を行える「場」として開催しました。参加者は3つのグループに分かれ、当機構の専門家の進行によって、各々のマンションについて意見を交換し、アドバイザーの建築士や弁護士にも意見を求めるなど、積極的に参加されていました。

発表内容

1グループ

(大規模修繕工事)

- 信頼できる業者や専門家を見つける方法について
- 管理会社との関わり方について

(理事会運営)

- 理事の選任方法や任期、理事会の運営方法について

2グループ

(大規模修繕工事)

- 見積金額の妥当性について

(規約変更)

- 手順について
- 共感できる仲間づくりの必要性について

3グループ

(理事会運営)

- 小規模マンションの課題について
- 理事会の開催頻度等について
- 管理費等の滞納の解決方法について
- 仲間づくりの必要性について

【参加者の感想】

- 参考になる多くの意見が聞け、課題解決のヒントになった。
- 他の管理組合の活動が参考になった。
- もっと多くの管理組合と意見交換できるよう、開催回数を増やして欲しい。

まとめ

●大阪弁護士会 亀井 直也氏

無関心な区分所有者が多い中での合意形成、管理会社との関わり方が共通の課題だと感じた。区分所有者が管理会社に前向きな提案や質問をする主体的な行動を通して、管理会社の経験やスキルを引き出すことができれば理想的だと思う。滞納の解決には、早い段階から対応を始めることが大変重要。



●公益社団法人大阪府建築士会 橋本 頼幸氏

仲間づくりと信頼できる専門家を探し出す方法で悩まれている方が多いと感じた。仲間づくりに大切なことは、組合活動は楽しいと感じる前向きな考え方ではないか。組合活動がしんどいと考えていれば、誘われる方も参加してみようという気を失うが、楽しいから一緒にやってみようよと声をかけられれば結果が異なることもあると思う。是非、組合活動を楽しんで欲しい。

